

# 令和3年度 阿南市ふるさと納税寄附金実績報告

阿南市版ふるさと納税では、持続可能な社会づくりを実現させていくために、環境保全・美化・啓発活動や環境配慮商品の開発に取り組む事業者が返礼品を提供する制度運用を行っております。昨年度においてもこの制度に御理解をいただき、ふるさと納税(寄附)を全国各地から多数受け賜わることができました。お礼申し上げますとともに、本市への寄附件数及び寄附金額を御報告いたします。

令和3年度寄附件数 11,986件 令和3年度寄附金額 168,333,000円

なお寄附金額から業務委託料などの必要経費86,700,339円を差し引いた実質収入金額81,632,661円をふるさと阿南応援事業基金へ積み立てております。

## ～令和3年度ふるさと納税寄附金使途報告～ (前年度分の御寄附を活用)

### ●関係人口創出・拡大事業費(1,941,482円)

阿南市が推し進める「阿南 SUP タウンプロジェクト」に関する事業として位置付ける「SUP レース開催」を通して関係人口の創出・拡大・深化を図るとともに、官民協働による持続可能な社会づくりに繋がることを期待されます。



### ●環境保全率先行動計画策定費(1,400,000円)

阿南市が実施している事務及び事業に関し、省エネルギー・省資源、廃棄物の減量化などの取組を推進し、温室効果ガスの排出量を削減することを目的に「第5次阿南市環境保全率先行動計画(事務事業編)」を策定しました。このことにより、市の事務・事業にかかる温室効果ガス排出量削減を図ることができ、また、電気、燃料、水等の使用量、廃棄物の発生量などを抑制及び事務経費の削減が期待できます。

### ●若杉山記念講演会費(129,760円)

本講演会では、弥生時代から古墳時代にかけて赤色顔料(水銀朱)を使用した痕跡のある遺跡が数多く見つかっている島根県出雲市の市職員をお招きし、「出雲地域における水銀朱の消費実態」を紹介していただきました。この講演会を開催することにより、阿南市民の「若杉山辰砂採掘遺跡」に対する理解が一層深まりました。



### ●恋人の聖地シティープロモーション事業費(2,500,000円)

恋人の聖地を有する18市町村が共同活用できるプラットフォーム、SNS、共同制作物等を整備し、各市町村のPR動画作成や著名人とのコラボ企画など、観光地の魅力や特産品の情報発信を行うことで、アフターコロナにおける交流人口・関係人口の増加や移住の促進に繋がることが期待できます。

### ●光のまちステーションプラザ改修及び備品購入費(1,997,600円)

JR阿南駅前の光のまちステーションプラザ2階に開設しております「スタディースペース」の環境を整えるため、LED等の移設作業及び内壁の塗装やカーテン取り付けに係る費用、「スタディースペース」の利用者に配慮した新型コロナウイルス対応の「パーティションデスク」5セット及び1階で開設しております「チャレンジショップ」などで活用するサブタウン阿南を象徴した「サーフボード型テーブル」2台と「木製椅子」12脚を購入しました。

### ●光のまちづくり事業費補助(750,000円)

光のまちづくり協議会を中心に市内の各種団体や事業者、学生等が一丸となり、LED発祥の地として、また、地域の新たな魅力づくりとして「光のまち阿南」を象徴するイベントを開催しました。観光資源である恋人の聖地や地域資源としての「光」を全国にPRすることを通じて、関係者のシティプロモーションによる地方創生への取組に対する意識の醸成、また、地域の魅力の再発掘やブラッシュアップ、社会の変化に合わせたデジタル化や情報発信力の強化が図られました。

